

1 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 評価の観点及びその趣旨

(1) 美術への関心・意欲・態度

美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を高めるために、主体的に学習に取り組もうとしている。

(2) 発想や構想の能力

感性や想像力を働かせて、対象を深く見つけ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かな発想をし、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練っている。

(3) 創造的な技能

感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創造工夫して創造的に表している。

(4) 鑑賞の能力

感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。

3 各学年の目標

(1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。

(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。

(3) 造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

4 指導計画・評価計画表

表中の記号・・・【関】：美術への関心・意欲・態度 【発】：発想や構想の能力 【技】：創造的な技能 【鑑】：鑑賞の能力

月	指導計画	評価規準	評価方法
4	<p>鑑賞 感じたことを話し合おう (1) ○「塔の入り江」の鑑賞を行い、美をつくりだそうとする人間の心、美と感情、美の多様性や永続性などについて思いをめぐらせ、考えを深めていく出発点とする。</p> <p>表現 遠近法を学ぼう (1) ○透視図法を中心に遠近法を学び、表現の幅を広げる。</p>	<p>【関】：美術作品に対する理解を深めようとしている。 【鑑】：作品を見て感じ取ったことについて、見方を深めていくことの意義について理解している。</p> <p>【関】：遠近法の理解を深めようとしている。 【技】：表現方法を理解し、工夫している。</p>	<p>・活動の様子の観察 ・ワークシートの作成 など</p>

5	表現 新鮮な視点でとらえよう (10)	【関】 ：身近な場所をいつもとは違う視点で見ようとしている。 【発】 ：新鮮な感覚から主題を生み出し、表現の構想を練る。 【技】 ：表現意図に合う画面の構成など表現方法を工夫している。 【鑑】 ：自分や友人の作品について感じたことを書き表したり、発表したりすることで、工夫した点や課題について評価できる。	・活動の様子の観察 ・作品 ・ワークシートの作成 など
6			
7	○毎日見慣れた校内の風景を、見る角度を変えてとらえることで見 つめ直し、表現する。		
9	表現 粘土で料理を作ろう (13)	【関】 ：身近にあるものを見つめ直し、特徴や美しさに気づく。 【発】 ：形や色、質感を捉え、構想を練る。 【技】 ：材料や用具の生かし方を考え、工夫して表す。 【鑑】 ：お互いの作品を見せ合い、表現の工夫について話し合い評価できる。	・活動の様子の観察 ・作品 ・ワークシートの作成 など
10	○器という限られたスペースに工夫を凝らして作る料理。日常で食 べる料理だけでなく写真をもとに色や形を観察し、特徴や質感を 立体で表現する。		
11			
12	鑑賞 ゲルニカ、明日への願い (1)	【関】 ：ピカソにとって生きるとはどんなことだったのかを想像しようとしている。 【鑑】 ：作品から受けた印象について、見方を深めることができる。	・活動の様子の観察 ・ワークシートの作成 など
	○「ゲルニカ」の線や筆の跡から、描かれた人や生き物の声、思 いなどを想像する。感じたことを言葉で表現したり、意見を交 換することで、考えを深めたり共有する。		
1	表現 豊かなイメージで伝えよう (10)	【関】 ：人に優しいデザインやメッセージを印象的に伝えるデザインに注目し、表現に つなげようとしている。 【発】 ：分かりやすさや美しさを意識して構想を練ることができる。 【技】 ：意図が多くの人に伝わるように見通しをもって表す。 【鑑】 ：お互いの作品について感じたことを書き表したり、発表したりすることで、 工夫した点や課題について評価できる。	・活動の様子の観察 ・作品 ・ワークシートの作成 など
2	○人に優しいデザインやメッセージを印象的に伝えるデザインは どのような工夫がなされているかを学び、関心をもって資料を集 め、表現する。		
3	鑑賞 ジャポニスム 国境を越える美術 (2)	【関】 ：ジャポニスムを例に、美術を通した国際理解に目を向けようとしている。 【鑑】 ：浮世絵と西洋の美術作品を比べ、違いや共通性について、理解を深めている。	・活動の様子の観察 ・ワークシートの作成 など
	○ジャポニスムを題材に作品を鑑賞し、国境を越えた文化の交流に よって、新しい表現が生み出されてきた過程について学ぶととも に、日本の文化の特徴について再認識する。		

合計38時間